

令和元年度

実施状況管理シート（作成日：R元. 9. 19）

作業部会名	・病院部会	事務局	・佐渡市 市民生活課
部会リーダー	・佐渡総合病院 佐藤病院長	サブリーダー	・両津病院 石塚院長 ・真野みずほ病院長
担当理事	・佐渡総合病院 佐藤病院長 ・両津病院 石塚院長		
作業部会 構成員	① 各病院管理者または病院長 ② 佐渡地域振興局健康福祉環境部 ③ 佐渡市		
部会中の 会議体	・地域医療構想会議との一体化を進める		
目標 (ゴール設定)	・持続可能な病院運営 - 「実効性のある機能分担と連携」 -		
具体的な 作業内容	① 病院ごとの機能・病床数・職種配置などの分担範囲を協議。 ② 分担範囲を前提とした連携基準の策定。 (1) 連絡窓口の一元化と明示。(各病院) (2) 紹介・転院連絡の方法及び様式の標準化。 (3) 病院機能及び生活支援を踏まえた入院・転院・退院・在宅の標準患者のフローの策定。 (医療・介護・福祉連携部会との協働) ③ 病院職員の研修体制の標準化を検討。 ④ ③を踏まえた従事者確保方針の意志統一。		
年間 計画	令和元年度	<b>【目標】</b> 病床機能を踏まえた病院機能の設定と分担 機能分担を前提とした連携基準・フローの策定 病院職員の研修体制の標準化（学習研修部会と連携）、従事者確保方針の策定	
	R2年度 以降	<b>【目標】</b> 病院機能分担と連携の実践と修正 病院職員の研修体制の試験運用と課題抽出・対応 標準化された研修をベースとした従事者募集の試験運用	

進  
捗  
状  
況  
管  
理  
  
(平成31年4月  
～  
令和元年9月まで)

第1回部会開催(2019/4/25)

- ・2019年度協議事項確認

第2回部会開催(2019/6/27)

- ・超高齢社会における連携の具体的視点に基づく、社会保障体制構築への取組み、協議

第3回部会開催(2019/9/19)

- ・各病院アンケート(病床機能対策計画、院外連携・人材育成)回答結果取りまとめ、  
ならびに今後の協議検討の方向

平成 31 年度 (令和元年度)

**実施状況管理シート** (作成日 : R 元. 9. 18)

作業部会名	・介護サービス部会	事務局	・佐渡市 高齢福祉課
部会リーダー	・大佐渡福祉会 特別養護老人ホーム 大浦の里 井野端園長	サブリーダー	・佐渡市社会福祉協議会 塚本常務 ・愛宕福祉会 グループホームさど 久文管理者 ・介護老人保健施設すこやか両津 村岡事務長
担当理事	・大佐渡福祉会 清水副会長 ・佐渡市社会福祉協議会 和田理事 ・愛宕福祉会 伊澤理事		
作業部会 構成員	① 佐渡市在宅医療推進センター    ② 介護支援専門員代表者    ③ 居宅介護系代表者 ④ 通所介護系代表者    ⑤ 入所介護系代表者    ⑥ 訪問看護代表者 ⑦ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部    ⑧ 佐渡市 高齢福祉課		
部会中の 会議体	・特養施設長連絡会 ・特養生活相談員連絡会 ・通所介護事業所連絡会		
目標 (ゴール設定)	・介護サービスを必要とする利用者の状態に応じて流動的に対応できる、一体的な介護サービス提供体制の構築。		
具体的な 作業内容	① 各施設の機能(対応範囲)の把握と整理 (1) 施設機能の把握(医療処置に対する対応範囲や地理的な対応範囲含む) (2) 住民の介護保険に関する知識不足の解消 ② 共有すべき情報の把握と標準化 (1) 同職種間や多職種間での情報共有の場を設置(定期的な調整会議等により他施設の情報把握) ③ 施設で利用する様式の標準化 (1) 入所系施設の申請様式の標準化 (2) 入所時の様式に限らず、統一が適当と思われる様式の標準化 ④ 機能の分担・改善に向けた対策 (1) 身元引受人に関する問題の検討 ⑤ 流動的に利用者を移動する体制の検討。 (1) 特養施設の入所申込の一元化    (2) 空床情報や待機者情報の共有 (3) 利用者の流れを調整、流動的な対応の検討 ⑥ 情報共有基盤として「さどひまわりネット」の活用を検討。 (1) 施設の機能等を ICT を活用しタイムリーに情報共有(空床情報や待機者情報の見える化) (2) 在宅高齢者のサービス利用状況の見える化		
年間計画	H31 年度 (令和元年度)	<b>【目標】</b> ・施設の機能分担・機能改善についての整理を行い、各施設間での情報の標準化を行い試験運用する。 ・ICT 等を活用し流動的に利用者を移動する体制を構築し試験運用する。	
	R2 年度 以降	<b>【目標】</b> ・施設の機能分担・機能改善を行い、ICT 等を活用し流動的に利用者を移動する体制を構築し本格運用を開始する。	

進 捗 状 況 管 理 (平成31年4月 ) 令和元年9月まで	第1回作業部会 (2019/4/9) ・各作業の進捗状況報告 ・平成31年度計画について検討 第2回作業部会 (2019/7/9) ・各作業の進捗状況報告・作業内容の課題整理 作業内容1と作業内容5についてPJチーム編成 第3回作業部会 (2019/8/5) ・各作業の進捗状況報告 PJチームの確認と作業の進捗状況 ・法人化した場合の事務局業務の洗い出し ・PJチームの作業内容確認 第4回作業部会 (2019/8/28) ・PJチームの進捗状況報告 課題の整理  【各作業の進捗状況】 ① 施設の機能(対応範囲)の把握と整理 ・作成した項目を資源管理システムで出されている項目とすり合わせ PJチーム編成し検討 ② 共有すべき情報の把握と標準化 ・通所連絡会を開催し、交流研修の実施を開始予定。 ・訪問介護連絡会の立ち上げについて準備 ③ 施設で利用する様式の標準化 ・短期入所申請様式の統一し9月から運用開始。 ・老健入所の申込様式の標準化について検討予定 ④ 身元引受人に関する問題の検討 ・佐渡版の指針(ガイドライン)作成にむけ検討中 ⑤ 流動的に利用者を移動する体制の検討 ・特養施設の申込申請様式統一し4月から運用開始。 ・PJチーム編成し、サービス利用に関する手順概要案の作成。(施設系、居宅系) ⑥ 情報共有基盤として「ひまわりネット」の活用 ・ひまわりネットの利用者スケジュール管理やコミュニケーションボードの活用による見える化の検討 (2～3事例での試行)
---	---

平成 31 年度 (令和元年度)

実施状況管理シート (作成日: R元. 9.12)

作業部会名	・障がい福祉サービス部会	事務局	・佐渡市 社会福祉課
部会リーダー	・社会福祉法人 佐渡福祉会 岩の平園 渋谷園長	サブリーダー	・佐渡国仲福祉会 はまなすの家 藤原施設長 ・とき福祉会 雑賀施設長
担当理事	・佐渡福祉会 弾正副会長 ・佐渡国仲福祉会 本間理事 ・とき福祉会 末武理事		
作業部会 構成員	・部会構成員は、佐渡市地域自立支援協議会参加者を基本とし、本協議会に关系する者を登載。 ① 福祉サービス事業所代表者                      ② 精神科医師 ③ 小児科医師    ④ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ⑤ 佐渡市 社会福祉課		
部会中の 会議体	「佐渡市地域自立支援協議会」 ・障害者（児）が地域で安心して生活できるよう相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に関するシステムづくりに関し、中核的な役割を果たす定期的な協議の場として設置された協議体。 構成メンバー：医療機関を代表する者、障害福祉サービス事業者、関係行政機関の職員、 8つの専門部会設置、協議会事務局は佐渡市社会福祉課		
目標 (ゴール設定)	・障害の状況に応じて、ニーズにあった適切な支援を途切れなく、継続的に受けることができる体制を整備する。		
具体的な 作業内容	① 総合的な相談支援体制の構築 ・基幹相談支援センターを中核とした各相談支援事業所との情報共有に関する検討 ・人材養成環境の整備に関する検討 ・障害分野以外の高齢福祉、保健・医療機関との情報共有に関する検討 ② 地域生活拠点等の整備 ・各施設等の地域資源のネットワーク化（情報共有）に関する検討 ・不足する資源の開発に向けた検討		
年間計画	H31 年度 (令和元年度)	【目標】 ○関係機関との連携方策の実現に向けた事業化 ・高齢障害者の介護保険への円滑な移行 ・精神障害者の地域移行の促進 ・専門的な対応を行うことができる体制の確保と人材の養成機能	
	R2 年度 以降	【目標】	

進 捗 状 況 管 理 (平成31年4月 ) 令 和 元 年 8 月 まで	<p>○ひきこもり支援部会 (2019/5/21・7/23)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット「大切なあなたへ」の周知・活用                      前年度から取り組んでいたリーフレットが完成したので広報等で周知する。また、リーフレットの活用方法について協議し、活用する。</li> <li>・事例検討                      具体的な事例に基づき、対応策などについて検討、共有する。</li> </ul> <p>○相談支援部会 (2019/5/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の相談支援体制について                      今年度の相談支援体制と人材育成について内容を検討。継続して、相談支援のみではなく、市内障害福祉サービス事業と連携していく。</li> <li>・文化交流活動の充実について                      本年度開催の障害者芸術・文化祭の開催内容について確認を行う。また、相談支援部会の構成メンバーを中心に実行委員会を立ち上げていく。</li> <li>・高齢福祉分野との連携強化</li> </ul> <p>○精神障がい部会 (2019/7/26)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括ケアシステム                      事例をもとに、対象者のQOLを向上するために地域包括ケアシステムをどう活用するか等検討した。</li> <li>・制度に当てはまらない人の居場所づくり                      居場所に求めるもの(人材・設備・場所・回数等の要望・どのように使えるとよいか・PR方法は等)をグループで検討した。</li> <li>・病院と地域をつなぐ連絡会                      ケースの情報を共有できるツールの説明</li> </ul> <p>○就労支援部会 (2019/7/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用拡大に向けた取組みについて                      これまでは佐渡市雇用促進協議会と連携して障害者雇用の啓発、また、雇用の拡大に向けて佐渡市職場実習事業等について検討してきたが、さらに雇用を拡大するために佐渡市独自の障害者雇用に関する表彰制度の導入について協議する。</li> </ul> <p>○療育支援部会 (2019/8/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援について                      相談支援事業について理解を深め、関係機関がより連携しやすい関係をつくる。</li> <li>・二次障害について                      二次障害について理解を深める。</li> <li>・教育と福祉に連携について                      福祉と教育の連携を深めるための手法の検討</li> </ul> <p>○令和元年度 第1回佐渡市地域自立支援協議会 (2019/8/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5期障がい福祉計画(平成30年度分)の実績報告について～数値目標達成状況評価表(案)</li> <li>・令和元年度自立支援協議会の専門部会の作業内容について～作業内容提案書</li> </ul>
---	---

平成 31 年度 (令和元年度)

**実施状況管理シート** (作成日 : R 元. 9. 18)

作業部会名	・在宅医療部会	事務局	・佐渡市在宅医療推進センター
部会リーダー	・佐渡医師会 小野素一	サブリーダー	
担当理事	・佐渡歯科医師会 児玉理事 (代表)・佐渡薬剤師会 金子理事 (副代表)・佐渡医師会 中山会長		
作業部会 構成員	① 在宅医療推進センター                      ② 病院代表者 ③ 診療所代表                                      ④ 歯科診療所代表者 ⑤ 保健薬局代表者                              ⑥ 訪問看護代表者 ⑦ リハビリ関連代表者                      ⑧ 介護支援専門員代表者 ⑨ 居宅・通所・入所介護代表者              ⑩ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ⑪ 佐渡市 高齢福祉課		
部会中の 会議体	・在宅WG      ・入退院WG		
目標 (ゴール設定)	・「在宅」を入院外 (居宅・介護施設等) と捉え、佐渡における在宅医療の基礎を構築する。		
具体的な 作業内容	① 通院負担を減らして在宅での生活機能を保つ方策を検討。 ② 退院前生活指導の標準仕様を作成。 ③ 在宅医療へつなぐ様式の標準化。 ④ 退院後の状態評価の用紙の標準化。 ⑤ 退院後に指導内容を継続できているか確認する体制の構築。 ⑥ 緩和ケア等の継続と効果を評価する体制の構築。 ⑦ 各施設のサービス・機能・受入可能数の一元管理、調整利用の構築。 ⑧ 在宅看取りについて&エンディングノート		
年 間 計 画	令和元年度	<b>【目標】</b> ・リハビリの早期介入及び医療用麻薬使用者の施設受入れの現状を把握し課題解決の対策を講じる ・佐渡において理想の入退院支援を実現するために、狭義の入退院支援システムと広義の入退院システムの2パターンで提言していく ・ACPと事前意思表示書作成について佐渡市民に周知させるための具体的方策を検討	
	R2 年度 以降	<b>【目標】</b> ・実証試験 (試行、プランの見直し、運用の再構築) 及び検証	

進 捗 状 況 管 理 (平成 31年 4月 ) 令和 元年 8月 まで	<p>令和元年度も在宅WGと入退院WGの2つのワーキンググループで具体的検討課題について取り組んでいく。</p> <p>第1回在宅医療部会 (2019/04/16)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅WG及び入退院WGの2つのWGの進捗について部会内で情報共有を行ない意見交換を行った。</li> <li>・心不全に麻薬が使える等麻薬の適応が大幅に緩和されており、施設の中でも認識してもらわないといけない。</li> </ul> <p>第1回在宅WG (2019/05/14)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療用麻薬使用者を施設受け入れ実現に向けた具体的方策について、再アンケート調査結果で麻薬管理への理解度は全ての施設で○になったが、職員不足の為受け入れ出来ない施設がまだある。施設は特に内部の情報共有と、ケアマネ・主治医に更なる周知が必要。</li> <li>・エンディングノートについて概念図を提示。「生きること」と「死ぬこと」の両方を考えることが大事。</li> </ul> <p>第1回入退院WG (2019/05/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入退院調整の仕組みについて大きく2点 (①病院・在宅間＝狭義の入退院支援、②施設・病院間や在宅・施設間＝広義の入退院支援) に分けて話し合いを行なっている。</li> </ul> <p>第2回在宅WG (2019/06/18)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療用麻薬使用者の施設受け入れについて課題毎に意見交換を実施。施設内での情報共有が出来ていない。</li> <li>・佐渡市版エンディングノートの活用を検討。名称を「ゆいノート」に。人生について考える大事なことを表現したい。ゆいノートの実際の活用方法を協議。使い方を説明するための研修が必要。</li> </ul> <p>第2回入退院WG (2019/06/19)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狭義の入退院支援の提言4、5、6、7、について内容を掘り下げて協議し今後取り組んでいく優先順位について検討。</li> </ul> <p>第2回在宅医療部会 (2019/07/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の部会以降の各WGの進捗状況を報告。医療用麻薬については施設内で職種にとらわれず情報共有が必要。ケアマネの理解により施設の方にひと押しできる。</li> <li>・エンディングノートについて実際に問題になるのは運用。</li> <li>・入退院支援については今後入退院に関わっている各病院の担当者やケアマネ、施設の専門職をもう1度WGに呼んで話しを聞いていく。</li> </ul> <p>第3回入退院WG (2019/08/21)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島内各病院の入退院調整担当者にWG出席を依頼し、現場での実情から入退院支援について意見交換を行なう。</li> <li>・退院に向けてリハビリ職に介入してもらえるとよい。スクリーニングの様式があればいいが業務量が増えては本末転倒。</li> </ul> <p>第3回在宅WG (2019/08/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療用麻薬使用者について各施設に当WGが行なったアンケートと市が行なった調査の回答で齟齬があったため、施設内での情報共有と「医療用麻薬適正使用ガイダンス」の確認のお願い文書を各施設に発出した。</li> <li>・WGに終活アドバイザーを招いてエンディングノートの進め方について話しを聞く。ゆいノートのお試し版を訪問看護、ケアマネ等で試してみることにする。</li> <li>・エンディングノートを進めるには時間がかかる。まずは自分が書いてみてそれから人(身内)に進める。</li> </ul>
---	--





進  
捗  
状  
況  
管  
理  
  
(平成31年4月  
～  
令和元年9月まで)

第1回部会 (2019/4/23)

- ・理事会報告事項「平成30年度実績報告」「平成31年度事業計画」について検討。
- ・各作業部会の進捗状況について情報共有。

第2回部会 (2019/8/8)

- ・各作業部会の進捗状況について情報共有。(課題・問題点の整理等)
- ・システム導入・運用方法について検討。
- ・事務局体制、資金調達方法について検討。

第3回部会 (2019/9/20)

- ・(理事会提案事項) システム・事務局体制・資金調達方法について検討
- ・(理事会報告事項) 作業部会 活動報告等について検討

平成 31 年度 (令和元年度)

**実施状況管理シート (作成日 : R1. 9 月)**

作業部会名	・ 学習・研修部会	事務局	・ 佐渡地域振興局健康福祉環境部
部会リーダー	・ 佐渡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 渡辺課長	サブリーダー	・ 佐渡市 市民生活課 後藤課長
担当理事	・ 介護福祉士会 中村理事 ・ 社会福祉士会 本間理事 ・ 看護協会 渡辺理事		
作業部会 構成員	・ 以下①～④の代表者 ① 各病院の医事担当、薬剤師、歯科衛生士、セラピスト、検査技師、放射線技師 ② 各病院、施設の管理栄養士、看護師及び訪問看護師 ③ 介護支援専門員、社会福祉士、介護福祉士、介護職員 ④ 薬剤師会、看護協会、リハビリテーション専門職協議会		
部会中の 会議体	職種別グループ (11) 医事担当、薬剤師、セラピスト、歯科衛生士、検査技師、放射線技師、管理栄養士、看護師、 介護支援専門員、相談援助職 (医療・福祉)、介護福祉士・介護職員		
目標 (ゴール設定)	・ 医療介護従事者の教育研修環境の整備・充実 佐渡島内の医療介護従事者が共通して、職種毎の基礎的な技術習得と、組織別のチームリーダーの養成ができる研修体制を構築する。		
具体的な 作業内容	A 部会全体会 ① 職種グループの進行管理 ② 島内共通研修会、講演会の検討 ③ 施設間交流研修会の検討 B 職種グループ検討会 ① 初期研修プログラムの試行結果の集約と修正 ② 合同研修、交流研修の検討 (自施設で対応できないプログラムへの対応) ③ 後期研修プログラムの策定 ④ 修了証交付の基準の検討		
年間 計画	H31 年度 (令和元年度)	<b>【目標】</b> ① 初期研修プログラムの試行、修正 ② 後期研修プログラム (組織別チームリーダー養成) の策定 ③ 島内全体の研修体制の検討 (交流研修等)	
	R2 年度 以降	<b>【目標】</b> ① 島内全体の研修体制の検討 (施設間交流研修等) ② 研修プログラム (初期～後期) の試行、修正	

進  
捗  
状  
況  
管  
理  
  
(令和元年5月  
～  
令和元年9月まで)

- ① 部会(全体会) R1.6.28
  - ・協議会及び部会の意義、平成30年度の取組と今年度の目標について
  - ・職種グループによる今までの取組共有と今年度の計画
  
- ② 職種グループによる検討(別紙参照)
  - ・8月末までに、職種により0～4回程度実施
  
- ③ 部会(情報交換会) R1.9.26
  - ・研修プログラムの作成状況共有、試行に向けた課題の整理、交流研修等について ほか
  
- ④ 部会通信 N04 の配信 R1.8.29
  - ・協議会構成機関にメールおよびFAXにて送信

## 佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 学習・研修部会 H31～R1年度検討状況

2019/8/31現在

職種	開催日	検討内容	研修プログラムの作成状況 A 完成(見込み)～初期・後期とも B 作成中～初期はほぼ完成 C 初期作成中
介護支援専門員	9/3	総論の共有と各論作成の検討、島内への周知について	A B C
介護福祉士	6/6、7/25、9/6	初期プログラムの作成、評価ツールの作成	A B C
看護師	4/10、5/21、6/18、7/9	研修プログラム(施設別)の検討、ラダーの活用について、施設間交流研修について	A B C
管理栄養士	4/26、6/14、8/23	後期プログラムⅢ～Ⅴ項目の検討、試行に向けた準備	A B C
薬剤師	7/18、8/8	部会の進捗状況共有、試行に向けた検討	A B C
診療放射線技師	H31.4以降の開催なし	初期プログラムは概ね完成	A B C
臨床検査技師	8/30	初期プログラムの作成	A B C
セラピスト(理学・作業・言語)	H31.4以降の開催なし	昨年度中に初期プログラム案を作成	A B C
歯科衛生士	H31.4以降の開催なし		A B C
社会福祉士(相談支援)	8/20	初期プログラムの作成	A B C
医事担当	H31.4以降の開催なし		A B C

研修プログラムの作成及び運用に係わる課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 初期研修プログラムには、自施設のOJTでできるものとできないものがある。できない部分の研修をどのように実施するか。(施設間交流研修、島内共通研修をどのように進めていくか)</li> <li>○ プログラムの周知～参加施設(職員)を増やす必要がある。 ～すでに活用している研修プログラムとの違いをどのように伝えていくか。</li> <li>○ 一人職場の場合の評価方法について</li> <li>○ 多職種で患者(利用者)さんを支援するための、地域アプローチのような全職種に共通する研修プログラムの整備が必要。</li> </ul>
-----------------------	--

## 佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 職種別研修プログラムの作成を進めています！

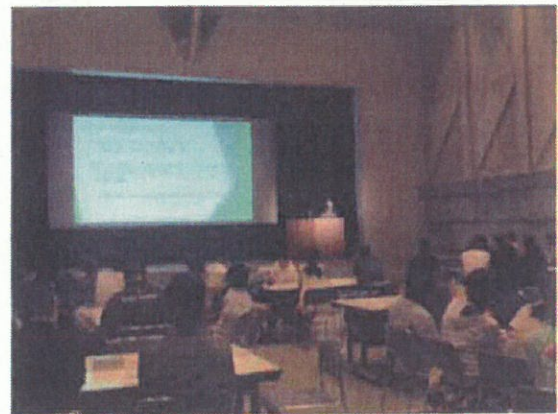
学習・研修部会では、医療・介護・福祉にかかわる多くの皆さんの参加により、11の職種に分かれ、職種ごとの研修プログラムの作成を進めてきました。

今年度はすべての職種の初期プログラムの完成を目指し、検討を進めています。

### 第4弾：学習・研修部会（全体会）開催報告

島内の多くの医療・介護・福祉関係者が提供体制協議会の趣旨を理解し、学習・研修部会の活動に積極的に参加いただけるよう、6月28日（金）アミューズメント佐渡を会場に、学習・研修部会（全体会）を開催しました。

当日は、61名と大勢の方に参加いただき「初めて参加しました。」との声も多く聞かれました。今後の部会活動の活性化が期待されます。



全体会では、佐渡総合病院 佐藤院長から、「超高齢化社会における社会保障体制 医療・介護・福祉連携がめざすもの」と題して、佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会や、学習・研修部会の取組の意義について講義をいただきました。



<概要>

佐渡は全国でも少子高齢化が進んでいる地域。医療や介護、福祉へのニーズは増大。反面支えるサービスは不足している。

⇒少ない資源で多くニーズにどのように対応していくかを 考えなければならない。

- ・ 様々な施設や職種が機能分担し、連携を図りながら支援していく。
- ・ 支援する職員も高齢化傾向。しかし島内での人員確保は難しい現状。

佐渡で超高齢化社会に対応した支援を学びに来る専門職を増やしていく。  
(本人のキャリアアップとして、一時的に島内に就業)



⇒佐渡を学びの場とするために、職種に応じた研修プログラムの整備が必要

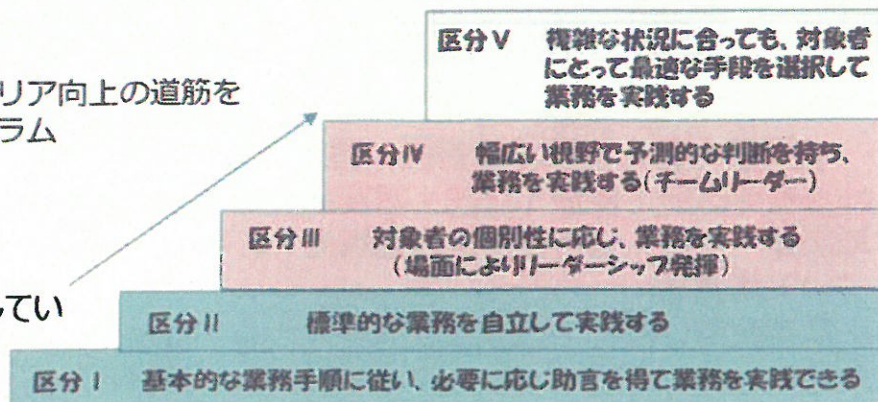
佐藤院長の講義に続き、部会リーダーが昨年度からの取組経過を報告しました。  
その後職種別グループで、今までの経過の共有と、今年度の計画の検討を行いました。



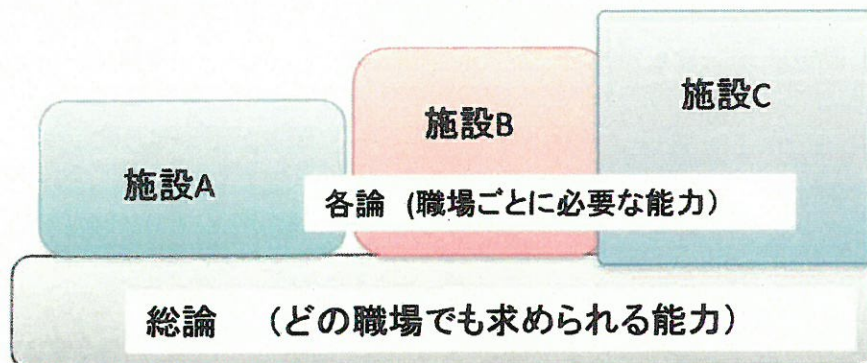
学習・研修部会では、ラダーを用いた研修プログラムを作成しています。

ラダーとは  
段階的にキャリア向上の道筋を示す研修プログラム

ステップアップしていくイメージ



【作るのは「総論」のラダー～どの職場でも、その職種に求められる能力～】



研修プログラムの作成を通じて、同職種のつながりが強まり、異なる職場でも共通に期待される能力があること、逆に職場の特性に応じて業務内容がずいぶん違うことへの理解が深まっています。

## 職種別研修プログラムの検討に参加しましょう！

- ・職種ごとに、定期的集まる、メールで意見交換など、やりやすい方法で検討を進めています。
- ・今後、初期研修プログラム案を、職場で「試行」をする予定です。
- ・多くの皆さんの参加により、実用的な研修プログラムになります。
- ・職種別の検討会の連絡がありましたら、職場内で声を掛け合い、ぜひ参加してください。

★職種グループの幹事さんは以下の方々です。(敬称略)

- |                   |                 |      |
|-------------------|-----------------|------|
| ①介護支援専門員          | 社協ケアプランセンターかんぞう | 高橋智弥 |
| ②介護福祉士            | 特養はもちの里         | 中川明  |
| ③看護師              | 両津病院            | 三好君江 |
| ④(管理) 栄養士         | 特養スマイル赤泊        | 藤澤恵子 |
| ⑤薬剤師              | 佐渡総合病院薬剤部       | 池田考介 |
| ⑥診療放射線技師          | 佐渡総合病院放射線科      | 松林 宏 |
| ⑦臨床検査技師           | 羽茂病院検査課         | 山田将也 |
| ⑧歯科衛生士            | 佐渡総合病院歯科        | 山城知子 |
| ⑨セラピスト (PT,OT,ST) | 佐渡総合病院(理学療法士)   | 金子義弘 |
| ⑩相談支援職            | 相談支援センターそらうみ    | 本間奈美 |
| ⑫医事担当             | 佐渡総合病院医事課       | 小田玉美 |

問い合わせ・連絡先

学習・研修部会リーダー

佐渡地域振興局健康福祉環境部 渡辺奈緒子

電話 0259-74-3403 E-mail 111130@pref.niigata.lg.jp





平成 31 年度 (令和元年度)

実施状況管理シート (作成日 : R元. 9.18)

作業部会名	・広報部会	事務局	・佐渡市 社会福祉課
部会リーダー	・佐渡市 社会福祉課 大屋課長	サブリーダー	・佐渡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 高木主査
担当理事	・佐渡地域振興局 樺澤理事 ・佐渡市 三浦理事		
作業部会 構成員	① 各部会代表者 ② 在宅医療推進センター ③ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ④ 佐渡市 高齢福祉課		
部会中の 会議体	・無し		
目標 (ゴール設定)	・協議会の活動を効果的に情報発信できる広報体制を構築し地域住民の理解促進を図る。		
具体的な 作業内容	・協議会の Web 更新 (総会議事録、各作業部会の活動状況等) ・佐渡地域の医療介護福祉を考える連続講座の開催 (①医療の現状と課題 ②在宅医療・介護について ③障がい福祉について) ・佐渡地域の医療介護福祉の現状を伝える出前講座の開催 (民生児童委員定例会、地域懇談会など) ・協議会の広報物の作成 (各作業部会の活動紹介チラシなど)		
年間 計 画	H31 年度 (令和元年度)	<b>【目標】</b> ・協議会の Web 更新 ・佐渡地域の医療介護福祉を考える連続講座の開催 ・佐渡地域の医療介護福祉の現状を伝える出前講座の開催 ・協議会の広報物の作成	
	R2 年度 以降	<b>【目標】</b> ・協議会の事業進捗状況に応じた広報活動	

進  
捗  
状  
況  
管  
理

(平成31年4月  
～令和元年9月まで)

第1回広報部会 (2019/4/23)

- ・H31 事業計画について

第2回広報部会 (2019/8/8)

- ・連続講座についての協議

11月～12月、全2回 開催予定

佐藤病院長の講義とワークショップ

- ・出前講座についての協議

希望される構成機関に出向き、佐渡地域の現状や課題について説明

佐藤病院長の講演のDVD貸し出し 等

第3回広報部会 (2019/9/20)

- ・連続講座の詳細について協議

イベント等でクリアファイルに協議会のチラシを挟んで住民や関係機関へ配布

(6/16 社会福祉大会、7/13 障がい福祉フォーラム、7/14 福祉施設職員研修会 等)

学習・研修部会での佐藤病院長の講演のDVD作成と、特別番組放送の案内